

宮崎災害医療研修会のお知らせ

災害が発生し、多くの傷病者が発生した場合、救出救助の手は、どの程度期待できるのだろうか？家屋の倒壊や炎上が発生し、道路はもとよりライフラインが寸断された状況で、実際に、被災地周辺からの救出救助を含む迅速な応援は可能なのだろうか？阪神淡路大震災でも、市民の予想に反して被災者の自助努力による救出救助の要素が強かったという報告が見られる。

災害時の限られた医療資源の中で、最大限の医療活動を行うには、通常の医療とは視点を変える必要がある。”最大多数に最良を“という災害医療の原則から、時として、重症度や緊急性の高い傷病者であっても、目の前の傷病者を治療対象とすべきか？という冷静で過酷な判断が求められる。また、医療機関の機能を保持するためにも、軽傷者や重症度の低い傷病者の治療は医療機関外での治療にシフトすることも検討されるべきであり、このことに関しては日頃からの市民の理解が不可欠である。

今回、災害医療の概念から、地域活動の人的資源の有効活用を考えるとともに、限られた医療資源をいかに最大限有効活用するか、を実践的に学ぶために宮崎県での本講習会の開催を企画しました。多数の参加をお待ちしています。

開催日時：平成21年10月17日（土）午前：09:30～12:30 （一般市民）
午後：13:30～17:30 （医療職）

開催場所：宮崎県消防学校講義室
住所 宮崎市郡司分120番地

募集人数： 午前中の部：一般市民／地域ボランティア
午後の部： 医療従事者（救急隊、看護師、コメディカルなど）

参加費： 一般市民／地域ボランティア ￥1,500
医療従事者 ￥3,000

応募方法／問い合わせ先：dearswell@imcjk2.hosp.go.jp

国立国際医療センター国府台病院
 外来部第一消化器科 吉澤 大
 千葉県市川市国府台 1-7-1

予定講師人：東京都立広尾病院副院長： 佐々木 勝 先生
 杏林大学救急医学教授： 山口 芳裕 先生
 大分三愛メディカルセンター救急診療科部長： 玉井 文洋 先生
 国立国際医療センター国府台病院： 吉澤 大 先生
 他

その他：実習もありますので、動きやすい格好でおいで下さい。スカートはご遠慮して下さい。

一般市民用スケジュール

時間		時間	時間	プログラム	目的	担当者
開会（1日コース） 9:30-9:35						
9:30	～	9:32	0:02		開会主催者御挨拶	
9:32	～	9:35	0:03		オリエンテーション	
Module 1: 災害の基礎的知識と応急手当 9:35-10:40						
9:35	～	9:45	0:10	1.1: 災害とは？	災害の基礎的な知識を学ぶ	
9:45	～	9:55	0:10	1.2: 一般市民の役割	市民にの災害教育の必要性	
9:55	～	10:25	0:30	1.3: 応急手当	災害現場の応急手当の実習	
10:25	～	10:40	0:15	1.4: 水難事故	水難事故の応急手当	
10:40	～	10:50	0:10	休憩・準備		
Module 2: トリアージの基礎と実習 10:50-11:30						
10:35	～	10:45	0:10	2.1: トリアージタグの具体的記載法	トリアージタグの実際的な記載を学ぶ	
10:45	～	11:15	0:30	2.2: トリアージ	START トリアージの実習	
11:30	～	11:40	0:10	休憩・準備		
Module 3: 災害時の連絡通信実習 11:40-12:10						
11:40	～	12:10	0:30	3.1: 災害時の通信	無線訓練の実習	
Module 4: 特殊災害 12:10-12:20						
12:10	～	12:20	0:10	4.1: NBC災害	NBC災害の基礎	
12:20	～	12:25	0:05	解説・講評, 質疑応答		
12:25	～	12:30	0:05	修了書交付		
12:30				閉会		

医療職用スケジュール

時間		時間	時間	プログラム	目的	担当者
開会 (1日コース) 13:30-13:40						
13:30	~	13:35	0:05		開会主催者御挨拶	
13:35	~	13:40	0:05		オリエンテーション	
Module 1: 災害の基礎 13:40-14:30						
13:40	~	13:50	0:10	1.1: 災害の定義	災害の定義を検討しておく必要がある。	
13:50	~	14:00	0:10	1.2: 災害医療支援の基本	"DISASTER"と"CSCAT IT"	
14:00	~	14:10	0:10	1.3: 救命士の役割	救命士の役割とは？	
14:10		14:40	0:30	1.4: 災害医療支援の実際	DMAT 連携隊の役割	
14:40	~	14:50	0:10	休憩・準備		
Module 2: 災害時のトリアージ 14:50-15:40						
14:50	~	15:00	0:10	2.1: トリアージタグの具体的な記載法	トリアージタグの実際的な記載練習	
15:00	~	15:40	0:40	2.2: トリアージ	START 法の実習	
Module 3: 医療救護活動シミュレーショントレーニング 15:40-16:10						
15:40	~	16:10	0:30	3.1: 搬送	搬送先・順位の決定	
15:50	~	16:00	0:10	休憩・準備		
Module 4: 特殊な災害対応 16:10-16:50						
16:10	~	16:20	0:20	4.1: NBC 災害	NBC 災害の基礎を知る	
16:20	~	16:35	0:15	4.2: mass gathering	mass gathering とは？	
16:35	~	16:50	0:15	4.3: 海難救助	特有な対処法を知る	
Module 5 各地の DMAT 16:50-17:20						
16:50		17:20	0:30	5.1: DMAT の実際	局地型 DMAT の活躍	
17:20	~	17:25	0:05	解説・講評, 質疑応答		
17:25	~	17:30	0:05	修了書交付		
17:30				閉会		